

2. 小樽商科大学のキャリア教育について (2)

「キャリアデザイン10年支援プログラム」を構成している主要な講義等は以下の通りです。

□ 正課科目

- 総合科目Ⅱ(社会科学と職業):1年次前期開講のキャリア教育導入科目
- 総合科目Ⅲ(エバーグリーン講座):緑丘会提供の卒業生による実務経験を基にした講義
- 地域連携キャリア開発:地域連携型PBLによる実践的キャリア教育演習
- インターンシップ:企業連携による職業体験による社会人基礎力育成

□ 正課外科目(活動)

- ルーキーズキャンプ:新入生のためのキャリア教育宿泊研修
- 高校生のための夏期連続講義:札幌市立高校と連携した大学生と高校生の協調型学習
- キャリアデザインプロジェクト:4年生のための社会人準備活動と後輩の就職活動支援

□

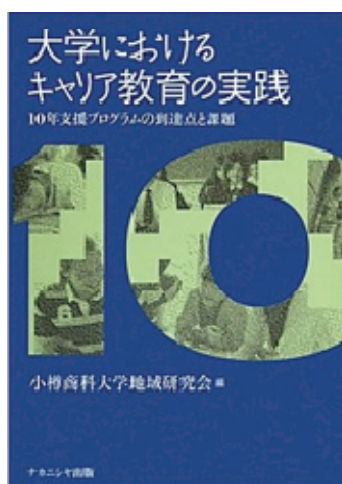


図: 本学のキャリア教育活動の詳細な内容と成果をまとめた書籍

なお本学のキャリア教育の取り組みの詳細な内容およびその成果等については、本学地域研究会の支援を得て平成22年に出版した「大学におけるキャリア教育の実践～10年支援プログラムの到達点と課題（ナカニシヤ出版）」をご参照願います。

3. 「キャリアデザイン10年支援プログラム」における 社会人基礎力育成について

- 本学のキャリア教育プログラムには、開発初期から社会人基礎力を広範に活用している点が特徴で社会人基礎力を指標化した成績評価や学生の指導などを実施しています。なかでも、「地域連携キャリア開発(2年次開講4単位)」は、平成20年に経済産業省より「体系的な社会人基礎力育成・評価システム構築事業」を受託して講義の設計ならびに試行開講した講義です。この地域連携型PBLを通じた社会人基礎力の育成の取り組みは、経済産業省主催(当時)の「社会人基礎力グランプリ」で優秀賞および優秀指導者賞を受賞しました。



図:「試行プロジェクト(現在は「地域連携キャリア開発」)の成果報告会資料ポスター



写真:「社会人基礎力グランプリ2009」各賞受賞の様子

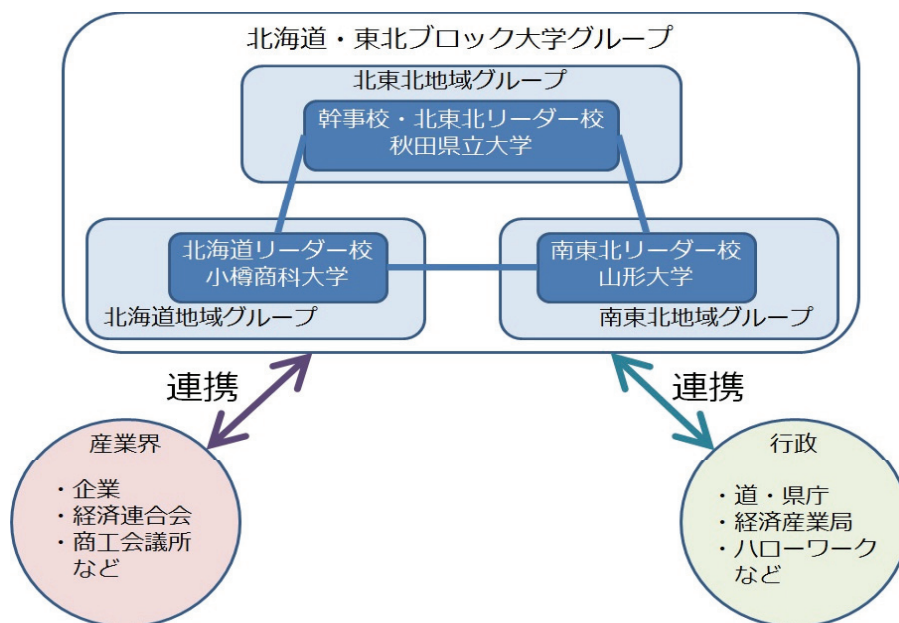
4. 「エバーグリーン講座」を通じた社会人基礎力育成について

□ 「エバーグリーン講座」は、公益社団法人緑丘会の全面的な支援により、実社会で活躍する幅広い世代の卒業生を特別講師としてお迎えして開講する連続講義です。先輩の貴重な経験に触れ、卒業後のビジョンを明確にすることと同時に、学生時代に「何をどのように学ぶか」について示唆を得る機会を提供することを意図しています。

□ 「エバーグリーン講座」は昨年度で25周年を迎え、258名の先輩方が本学の教壇に立たれています。このエバーグリーン講座においても「社会人基礎力の育成」といった観点からの取り組みを行っております。先輩方の実際の体験など仕事の中で裏付けられた「言葉」は非常に重く学生に届いていると思います。「リーダーシップと簡単にいうけれども、それを支えていくフォロワーシップといったものが無ければチームは機能しない」や「誠実に仕事に取り組もう」といったお話が学生に素直に響いているように思います。それは社会人になるために就職活動をするときのノウハウとしての意味だけではなく、日常の自身の学習活動やサークル活動、アルバイトの中に活かされているという感想が多数寄せられています。「一所懸命というけれど、本当に一所懸命なのか自分自身に問うてみなさい。」という言葉、「毎日0.1%成長すれば10年経過すると大変に大きな成長になっているんだ。」という言葉。私はすべての授業に立ち会っていますが私自身が感銘を受ける授業ばかりです。

5. 文部科学省「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業(H24～H26)」の取組について (1)

- 今般、小樽商科大学のキャリア教育プログラムが、社会から求められる人材育成を支援する標記事業に採択されることとなりました。本事業は、複数の大学が連携して、社会的・職業的に自立し産業界のニーズに対応した人材の育成を行う教育改善の取り組みに対して国が支援を行うもので、本学は北海道・東北ブロックを形成する他の16の大学と連携してこの事業に取り組むことになっています。
- 北海道・東北ブロック全体としては、対象地域が広範囲にわたり、雇用環境や経済情勢が必ずしも同じではなく、また東日本大震災の被害が大きかった地域が含まれることなどから、「産官学連携による地域・社会の未来を拓く人材の育成」という共通理念の下、主として以下の3つのテーマを掲げて教育改善活動を実施することとなりました。
 - ① 企業構造・地域課題を踏まえた教育内容の評価と改善
 - ② 産業界と大学のニーズを踏まえたインターンシップの実施
 - ③ 早い段階から「将来目標」「社会・企業」を意識させる正課外の取組



5. 文部科学省「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業(H24～H26)」の取組について (2)

- 本学では、同事業の支援を活用して、前述の「キャリアデザイン10年支援プログラム」のいっそうの充実を図ることとしており、具体的には以下の内容の取り組みを進めることとしています。

- (1)「企業構造・地域課題を踏まえた教育内容の評価と改善」関連
 - ①初年次キャリア教育導入科目「社会科学と職業」の多面的評価と改善
平成24年度中に地域の企業等の評価を得て、過去複数年の継続的な教育効果の調査および学外からの評価・助言を得て講義計画を作成し、平成25年度前期から開講する。
 - ②地域課題に対応した新規科目の開設
学内研究グループ「地域研究会」の研究実績をもとに平成24年度に限定開講した「グローバリズムと地域経済」の教育効果の検証と外部評価を実施し、平成25年度から「地域経済の諸問題(仮)」を新規開講できる体制を整備する。

- (2)「産業界と大学のニーズを踏まえたインターンシップの実施」関連
 - ③企業連携インターンシップの高度化
過去10年以上にわたって継続してきた企業インターンシップ(2週間＋事前事後指導)の内容および実施体制を見直し、現代のインターンシップに対する受入企業の目的や実施形態ならびに学生の参加動機が多様化に対応する。
 - ④地域連携インターンシップの体制整備
3年間開講した「地域連携キャリア開発」を地域連携インターンシップとして再構築し、取り組み内容の拡大と実施体制の充実および組織化を進める。